

新型コロナウイルス感染症のため講義の形態など考えながら行う毎日です。

今回は、その一例として今日はケーススタディ発表会の様子をお伝えします。

## ケーススタディ発表会



ケーススタディ??

ケーススタディ・・・簡単に言えば「事例研究」・・・  
3年生が自分の行った看護の妥当性を論理的に捉え論文として  
作りあげていきます。まとめた研究を発表することで一人の行った  
看護を全員で共有し自分の看護に活かしていける機会になります。  
とても勉強になります。



毎年なら講堂で全学年そろって行われていたケーススタディ発表会も今年はこんな感じで行われました。

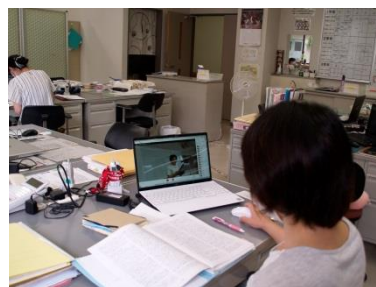


会場には3年生と決まった人数の臨床指導者と教員のみ・・・発表者の前には飛沫防止のため透明シートを設置しました。



全体発表後は、いくつかのグループに分かれてフリーディスカッションを3年生は学校から1・2年生は自宅からリモート参加で行いました。リモートで大変なこともあったと思いますが、全員で協力しながら進めることができ本当に良かったです。

1・2年生は自宅からリモート参加。  
会場に入れなかった教員も教務室からリモート参加です。質問もできる形で行いました。



コロナによって大変なことばかりですが  
その中でも学生は臨機応変に対応する  
力をつけながら日々成長中です。

